

## 研修レポート

### 名古屋第一赤十字病院 研修医 1 年目

この度は、4 週間にわたり地域研修をさせて頂きありがとうございました。普段働いている病院ではあまり経験できないようなことが多くあり、大変勉強になりました。

今回の研修では総合診療科の先生方にご指導頂きながら、初診外来や救急外来での初期対応をさせて頂きました。特に初診外来に来院される患者さんの主訴は様々で主訴や症状からは疾患が想定できないこともあり、教科書を片手に右往左往することもありました。普段は外来と言うと、救急外来での業務が多く、どうしても身体所見や検査がメインの診察になっていました。しかし、初診外来では患者さんの主訴や来院理由に重きをおいた問診がされており、その場での診断に至らなくても、その後のフォローを含めて外来診療なのだ学びました。また、症状を取り除き、今後のフォローをすることで患者さんの安心感に繋がったり、後から診断がつくこともあるのだと知りました。

COVID19 流行の影響で毎朝の勉強会は開催されていませんでしたが、毎夕の振り返りや EBM 勉強会、画像カンファレンス、up to date 勉強会、内科カンファレンスなどは開催されていました。毎夕の振り返りではその日の初診外来で診た患者さんについて、総合診療科の先生方からフィードバックを頂き、次回の診療に繋げよう、という意欲につながりました。EBM 勉強会や up to date 勉強会、また先生方の診療の様子を見学させていただいて疑問に思ったことを文献で調べ自分の知識とすることの重要性、面白さを学びました。

作手診療所や訪問診療では日頃の診療では経験できない家庭医療の様子を見学させて頂きました。患者さんやその家族によって、医療や治療に対する考え方はこんなにも違うのか、と驚きました。

今回の研修で普段は経験できない様々な事を経験させて頂きました。地域医療について、総合診療について知らないことがたくさんありとても勉強になりました。研修医のうちにこのような経験をさせて頂いたこと、大変感謝しております。最後になってしまいましたが、今回の研修でお世話になりました総合診療科の先生方、病院スタッフの皆様、訪問研修をさせて頂いた診療所スタッフの皆様には大変お世話になりました。この 4 週間の経験を忘れずに今後活かしていきます。本当にありがとうございました。